

まちづくり交付金 事後評価シート  
JR大和新庄駅周辺地区

平成21年12月

奈良県葛城市

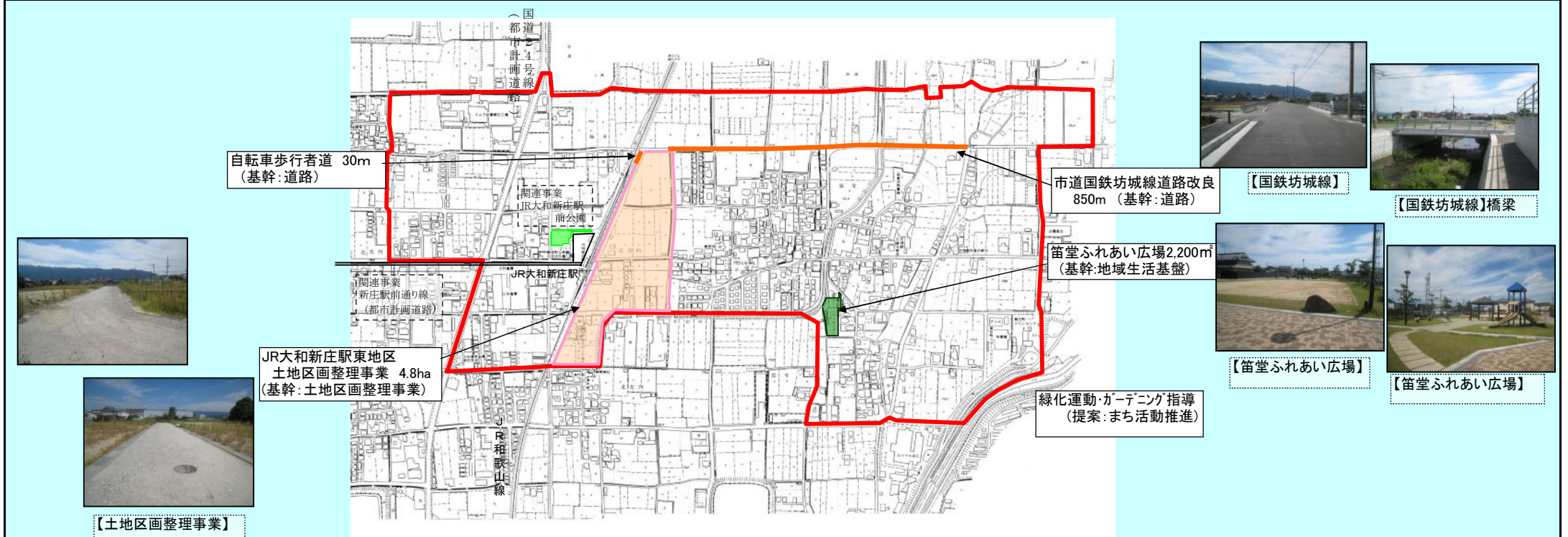
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	奈良県	市町村名	葛城市	地区名	JR大和新庄駅周辺地区			面積	71.8ha					
交付期間	平成17年度～平成21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	1,341,000千円	国費率	0.4							
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(国鉄・坊城線道路改良)、区画整理事業(JR大和新庄駅東地区)、地域生活基盤施設(笹堂ふれあい広場)											
		提案事業	緑化運動・ガーデニング指導											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	高次都市施設(JR大和新庄駅自由通路)	事業費に対する事業効果の見直しと市財政状況を考え、代替案を示し、削除した。			東西の移動利便性により、駅東側の放置自転車の解消を目標にしていたが事業中止により削除した。							
		提案事業	市民農園開設、ワークショップ開催	土地区画整理事業による新住民を対象とし市民農園を計画していたが、増加状況をみて再検討することとした。ワークショップについては地区計画策定等に住民参加によるまちづくりを想定したが、地域住民が参加する土地区画整理組合との協議による策定を行い、ワークショップと同様の効果が見込まれるため削除した。			市民農園利用者指標を削除。ワークショップ開催については土地区画整理組合と協議したため、同様の効果が見込まれるため、目標指標等は据え置いた。							
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(自転車歩行者道)	自由通路の代替案として追加			機能としては確保できるが、自由通路とは利便性において影響が出ると考えられる。							
		提案事業												
交付期間の変更	当初変更	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	指標1	JR大和新庄駅乗降客数	人/日	828	H13	850	H21	816	732	△	あり なし	●	目標達成は困難であるが、近接の鉄道駅利用者が減少している中、大学移転による突発的な要因を除けば、ほぼ横ばいとなっている。事業完了による人口増加も見込まれることから、改善の余地も考えられる。	平成23年6月
	指標2	地区内商業施設・業務施設数	件	33	H15	40	H21	33	46	○	あり なし		事業施工中であるが、区域周辺には新規住宅の建設やスーパーマーケットや大型電気店等が進出し、定住環境の整備が進んでいる。	平成23年4月
	指標3	笹堂コミュニティセンター利用状況	回/年	76	H15	100	H21	78	87	△	あり なし	●	以前から開催の教室が中止されたため、目標達成は困難であるが、広場は憩いの場として親しまれ、管理も地元自治会に引き継がれている。盆踊り等開催され、新たな交流が図られている。	平成23年4月
	指標4	交通事故による救急出場状況	件/年	12	H15	6	H21	5	6	○	あり なし		自転車歩行者道の整備による車道との分離により、安全性の向上を図ることができ、また区画整理地内の道路整備により指標の改善につながった。	平成23年4月
指標5	ガーデニング活動者数	世帯	0	H15	100	H21	0	42	△	あり なし	●	地元の協力による講座の開催は好評であったが、区画整理事業完成を見込んだ目標数値設定としていたため、目標達成に至らないが、周辺の住宅開発もあり、今後、区画整理事業の完了による効果が期待できる。	平成23年4月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	その他の数値指標1	計画区域内人口	人	1,734	H16			1,716	1,905			住宅の建設の準備も進められており、生産年齢人口も毎年増加しており、人口に占める割合も市平均を上回っており、にぎわいが形成されつつある。	平成23年4月	
	その他の数値指標2 その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	既存集落内に位置する笹堂コミュニティセンターに隣接するように整備された広場であるため、子供から年配の方まで、ベンチや遊具、多目的広場を備えた広場が憩いの場として広く利用され、地域の催しとして盆踊り大会、観月会等も開催され、地域の交流が図られている。平成20年4月より月2回、グラントゴルフも開催されている。市より地元自治会に維持管理が引き継がれ、地元住民の皆さんで維持活動が行われている。													
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	財政状況による計画の見直し及び事業の遅れによる事業削除を踏まえたモニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ● 次期計画を含めた事業計画の検討					
	住民参加プロセス	緑化運動・ガーデニング指導			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ● 生涯学習活動を通じた活動の情報を提供し、活動展開を支援する。					
	持続的なまちづくり体制の構築	都市的機能と農業的機能、市街地と田園空間などが調和した良好な定住環境の創出を目指し、新旧住民の交流活動等まちづくり活動の推進			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ● 良好な定住環境の創出を目指して、具体的に分かり易いまちづくり活動についての情報を提供し、活動を支援する。					

## 様式2-2 地区の概要

JR大和新庄駅周辺地区(奈良県葛城市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 利便性の高い駅周辺及び田園環境と調和した生活環境の創造 目標1 利便性の高い住宅系市街地の形成や駅前としての機能強化を図り、にぎわいを創出する。 目標2 道路整備等により交通アクセス条件及び交通安全性の向上を図りながら、良好な定住環境を形成する。 目標3 住民組織や活動への支援等を行い、住民参加のまちづくり及び都市・農村交流を促進する。	JR大和新庄駅乗降客数	単位: 人/日	828 H13	850 H21	732 H21
	地区内商業・業務施設数	単位: 件	33 H15	40 H21	46 H21
	笛堂コミュニティセンター利用状況	単位: 回/年	76 H15	100 H21	87 H21
	交通事故による救急出場状況	単位: 件/年	12 H15	6 H21	6 H21
	ガーデニング活動者数	単位: 世帯	0 H15	100 H21	42 H21



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>利便性の高い住宅系市街地の形成については、土地区画整理事業を行い都市基盤整備により定住環境の条件は整えられた。一部、住宅建設の準備が進められている。</li> <li>道路: 国鉄坊城線は大和高田バイパス、南阪奈道路へのアクセス、国道24号線の渋滞緩和の整備効果を期待していたが、事業縮小により当初計画の効果発現は難しい。駅周辺整備では駅への道路アクセスが重要であり、部分的には向上しているものの、国道24号線・大和高田バイパスへの東西アクセスの確保が必要である。</li> <li>緑豊かな住環境を形成し、ゆとりあるまちづくりを推進するため、農業の盛んな地域の特性を活かす住民参加による活動とその支援が課題である。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>区画整理事業による住宅系市街地形成に必要な基盤整備はほぼ達成されたので、今後、住民参加のまちづくりを促し、暮らしやすく緑豊かな住環境を形成するため、まちづくり活動を支援し、住民交流活動を継続的に展開する必要がある。土地利用の促進を図ることも必要である。</li> <li>道路事業について、当初計画していた国道24号線、大和高田バイパスへのアクセス機能を確保するため、国道24号線への接続を図り、大和高田バイパスに繋がる地域活力基盤創造交付金事業に取り組むことを検討する。</li> <li>JR駅前の住宅系市街地の形成によりJRの利便性を図るため、ダイヤ改正等JR側に改善を求めていく。</li> <li>住民参加のまちづくりに、タウンミーティングを通じて行政情報を提供し、まちづくりに参画する意識の醸成を図り、まちづくり活動組織の立ち上げを進める。</li> </ul>